



## 2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月31日

上場会社名      ダイニチ工業株式会社      上場取引所   東  
コード番号      5951      URL    <https://www.dainichi-net.co.jp/>  
代表者            (役職名) 代表取締役社長            (氏名) 吉井 唯  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長            (氏名) 野口 武嗣      TEL 025-362-1101  
半期報告書提出予定日      2024年11月7日      配当支払開始予定日   -  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無      : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	6,544	△14.8	103	△78.7	200	△65.8	124	△68.6
2024年3月期中間期	7,685	4.5	487	36.6	585	28.5	397	22.8

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	7.71	-
2024年3月期中間期	24.57	-

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	29,558	26,848	90.8
2024年3月期	31,183	27,093	86.9

(参考) 自己資本    2025年3月期中間期      26,848百万円    2024年3月期      27,093百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	-	0.00	-	22.00	22.00
2025年3月期	-	0.00	-	-	-
2025年3月期（予想）	-	-	-	22.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2025年3月期の業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	1.8	1,150	4.5	1,300	0.5	900	1.4	55.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年3月期中間期	19,058,587株	2024年3月期	19,058,587株
② 期末自己株式数	2025年3月期中間期	2,873,520株	2024年3月期	2,873,520株
③ 期中平均株式数（中間期）	2025年3月期中間期	16,185,067株	2024年3月期中間期	16,185,113株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算説明補足資料は、第2四半期（中間期）決算短信の発表と同日に当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 中間財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間貸借対照表 .....	4
(2) 中間損益計算書 .....	6
(3) 中間財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(中間貸借対照表に関する注記) .....	7
(中間損益計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	7
(収益認識関係) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間会計期間(2024年4月1日~2024年9月30日)におけるわが国経済は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している状況となりました。

先行きにつきましては、雇用・所得環境が改善するなかで、緩やかな回復が続くことが期待される一方、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある状況です。

こうしたなかであって当社は、市場や住環境の変化に対応した商品開発に取り組みました。また、需要期に向けた生産活動と在庫確保、販売チャネルの拡大に取り組みました。

#### <暖房機器>

主力商品であります石油暖房機器では、日本国内の自社工場での生産による迅速な商品供給力と、安心して商品をお使いいただくための品質保証体制がお客様に評価されて業界内で確たる地位を築いております。

当事業年度におきましては、上下にスライドするだけでファンフィルターの掃除ができる業界初のお手入れ機能「かんたんフィルタークリーナー」を搭載した機種を含む家庭用石油ファンヒーター全12タイプ27機種を発売し、冬の需要期に備えております。

また、電気暖房機器では、センサーで部屋の温度をチェックして室温を約18℃に自動でキープする「自動」+「eco」運転モードを搭載したセラミックファンヒーターを含む2機種を発売し、脱衣所やキッチンなどスポット暖房の需要にお応えしてまいります。

#### <環境機器>

加湿器では、50・55・60・65・70%で湿度設定ができる新機能「湿度設定5%刻み」を搭載した11機種を含む全9タイプ25機種の商品を発売しております。

また、空気清浄機では、新たに台湾への輸出を開始したほか、運転開始から15分間は最大風量で運転し、その後は約60分に一度、強運転で気流を循環させることで浮遊花粉を捕集する「花粉」運転モードを搭載した機種を発売しております。

#### <その他>

その他では、加湿器のフィルターの販売に注力したほか、4月に本体カラーを一新した焙煎機能付きコーヒーメーカーとコーヒー豆焙煎機を発売しました。

当社は、石油暖房機器が主力であるため売上は下半期に集中し、上半期は販売店への商品導入期にあたります。当社の商品及び販売促進策は販売店に好評であり今後積極的な販売展開を行ってまいります。商品導入にあたっては販売店の在庫圧縮、仕入抑制の動向から売上はその影響を受けることとなりました。この結果、暖房機器の売上高は47億26百万円(前年同期比17.4%減)、環境機器の売上高は14億24百万円(前年同期比6.9%減)、その他の売上高は3億93百万円(前年同期比8.8%減)となりました。

以上の結果、当中間会計期間の業績は、売上高は65億44百万円(前年同期比14.8%減)、営業利益は1億3百万円(同78.7%減)、経常利益は2億円(同65.8%減)、中間純利益は1億24百万円(同68.6%減)となりました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

資産合計は前事業年度末に比べ16億25百万円減少し、295億58百万円となりました。

流動資産は前事業年度末に比べ15億97百万円減少し、188億20百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が40億85百万円増加、製品が18億30百万円増加したものの、現金及び預金が53億62百万円減少したことによるものであります。

固定資産は前事業年度末に比べ28百万円減少し、107億37百万円となりました。これは主に前払年金費用が84百万円増加したものの、建物が50百万円減少、有形固定資産のその他が66百万円減少したことによるものであります。

(負債)

負債合計は前事業年度末に比べ13億80百万円減少し、27億9百万円となりました。

流動負債は前事業年度末に比べ13億76百万円減少し、18億80百万円となりました。これは主に流動負債のその他が10億80百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前事業年度末に比べ3百万円減少し、8億29百万円となりました。これは主に繰延税金負債が55百万円増加したものの、役員退職慰労引当金が62百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は剰余金の配当による利益剰余金の減少により、前事業年度末に比べ2億45百万円減少し、268億48百万円となり、自己資本比率は90.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2024年5月13日発表の「2024年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」に記載した業績予想に変更はありません。

## 2. 中間財務諸表及び主な注記

## (1) 中間貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,057,211	1,694,435
受取手形及び売掛金	1,120,674	5,206,185
電子記録債権	1,638,871	243,710
有価証券	4,517,617	3,516,950
製品	4,801,352	6,631,587
仕掛品	157,628	204,004
原材料及び貯蔵品	1,053,034	1,107,260
その他	72,094	217,060
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	20,417,485	18,820,195
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,517,142	3,466,493
土地	2,086,422	2,086,422
その他(純額)	1,257,530	1,190,879
有形固定資産合計	6,861,095	6,743,796
無形固定資産		
	37,420	37,646
投資その他の資産		
投資有価証券	3,316,470	3,296,699
前払年金費用	519,820	604,230
その他	31,658	55,937
貸倒引当金	△380	△380
投資その他の資産合計	3,867,570	3,956,487
固定資産合計	10,766,085	10,737,930
資産合計	31,183,571	29,558,125

(単位:千円)

	前事業年度 (2024年3月31日)	当中間会計期間 (2024年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,042,293	932,005
未払法人税等	218,443	44,859
賞与引当金	271,983	264,080
製品保証引当金	149,000	144,700
その他	1,575,470	494,627
流動負債合計	3,257,189	1,880,273
固定負債		
繰延税金負債	119,416	175,331
再評価に係る繰延税金負債	102,230	102,230
役員退職慰労引当金	449,800	387,012
その他	161,255	164,878
固定負債合計	832,702	829,452
負債合計	4,089,891	2,709,725
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,058,813	4,058,813
資本剰余金	4,526,575	4,526,575
利益剰余金	19,792,904	19,561,578
自己株式	△2,109,181	△2,109,181
株主資本合計	26,269,112	26,037,786
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	891,554	877,602
土地再評価差額金	△66,988	△66,988
評価・換算差額等合計	824,566	810,613
純資産合計	27,093,679	26,848,400
負債純資産合計	31,183,571	29,558,125

## (2) 中間損益計算書

(単位:千円)

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	※2 7,685,377	※2 6,544,629
売上原価	5,311,927	4,568,184
売上総利益	2,373,450	1,976,445
販売費及び一般管理費	※1 1,885,899	※1 1,872,550
営業利益	487,550	103,894
営業外収益		
受取利息	12,024	15,490
受取配当金	29,399	35,878
作業層収入	33,396	27,295
受取賃貸料	13,583	12,033
その他	9,861	6,565
営業外収益合計	98,265	97,263
営業外費用		
為替差損	-	1,043
その他	2	1
営業外費用合計	2	1,045
経常利益	585,813	200,112
特別利益		
固定資産売却益	-	149
特別利益合計	-	149
特別損失		
固定資産除却損	1,540	6,043
特別損失合計	1,540	6,043
税引前中間純利益	584,273	194,219
法人税、住民税及び事業税	149,900	7,700
法人税等調整額	36,626	61,774
法人税等合計	186,526	69,474
中間純利益	397,746	124,745

(3) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間貸借対照表に関する注記)

該当事項はありません。

(中間損益計算書に関する注記)

※1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前中間会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
製品保証引当金繰入額	11,914千円	8,953千円
従業員給料手当	433,897	436,307
賞与引当金繰入額	98,619	97,059
役員退職慰労引当金繰入額	13,850	13,300
退職給付費用	30,894	13,597
研究開発費	233,525	382,449

※2 前中間会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)及び当中間会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

当社では通常の営業の形態として、事業年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間に著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間会計期間(自2023年4月1日 至2023年9月30日)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間会計期間(自2024年4月1日 至2024年9月30日)

当社は単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

前中間会計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

(単位:千円)

	売上高
暖房機器(石油暖房機器、電気暖房機器、ガス暖房機器)	5,723,971
環境機器(加湿器、空気清浄機、燃料電池ユニット)	1,530,098
その他(部品、コーヒー機器他)	431,308
顧客との契約から生じる収益	7,685,377
その他の収益	-
外部顧客への売上高	7,685,377

当中間会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

(単位:千円)

	売上高
暖房機器(石油暖房機器、電気暖房機器、ガス暖房機器)	4,726,759
環境機器(加湿器、空気清浄機、燃料電池ユニット)	1,424,624
その他(部品、コーヒー機器他)	393,245
顧客との契約から生じる収益	6,544,629
その他の収益	-
外部顧客への売上高	6,544,629